

第四十六回句会 俳句

【高点句】

- ☆日傘差す夫にも影を施して 〈青蛙〉  
☆炎昼の車重たし停止線 〈莫院〉  
☆風鈴やあるなしの風チリと鳴る 〈郁代〉  
☆毛虫這ふ這ふ逃げやうと生きやうと 〈明美〉  
☆出水引き土砂掃く爪の泥固し 〈撫子〉  
☆異人墓地を住処の如く黒揚羽 〈一馬〉

【各自一句】

- ・早星仰ぎ科学の進歩知る 〈眞澄〉  
・海ひろし波音だけの夏の朝 〈童心〉  
・毛虫とて生き物だよと逃がしおり 〈青蛙〉  
・短夜の朝ガラス越し陽の熱射 〈撫子〉  
・吊るす向きあれこれ変へて釣忍 〈明美〉  
・夏野菜手塩にかけてたわわなり 〈雄記〉  
・列島の灼けて瓦礫の道つづく 〈安津子〉  
・短夜や母の寝言の「おかあさん」 〈郁代〉  
・懐中時計生まれし街のビヤホール 〈茂〉  
・十余基のクレーンの先の雲の峰 〈一馬〉  
・短夜や履歴書書いて明日は晴れ 〈莫院〉

\*以上、33句（3句ずつ11名）より、選句は11名により4句ずつ

\*高点句は、高得点の句より3句（今回は第2位が同点で5句）

\*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に偶然記載された順に掲載）